

南大隅町 学校施設長寿命化計画

2021(令和3)年3月

第1回改訂

2026(令和8)年3月

鹿児島県 南大隅町 ・ 南大隅町教育委員会

目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1 学校施設長寿命化計画の背景・目的等 | 1 |
| 1 背景 | 1 |
| 2 目的 | 2 |
| 3 計画期間 | 2 |
| 2 学校等施設の目指すべき姿 | 3 |
| 1 目指すべき姿 | 3 |
| 3 学校等施設の実態 | 4 |
| 1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態 | 4 |
| 2 学校施設老朽化状況の実態 | 10 |
| 3 今後の維持・更新コスト(従来型) | 13 |
| 4 学校の実態を踏まえた課題の整理 | 14 |
| 4 学校施設整備の基本的な方針等 | 15 |
| 1 施設整備の基本的な方針 | 15 |
| 2 学校等施設の規模・配置計画等の方針 | 15 |
| 3 改修等の基本的な方針 | 16 |
| 5 長寿命化による効果 | 18 |
| 1 学校等施設の規模・配置計画等の方針 | 18 |
| 2 改修等の整備水準 | 20 |
| 6 施設整備の実施計画 | 21 |
| 1 改修等の優先順位付けと実施計画 | 21 |
| 7 長寿命化計画の継続的運用方針 | 23 |
| 1 情報基盤の整備と活用 | 23 |
| 2 推進体制等の整備 | 23 |
| 3 フォローアップ | 23 |

1 学校施設長寿命化計画の背景・目的等

1 背景

全国の地方公共団体では、高度経済成長期に整備された公共施設等が老朽化によって、今後、大規模改造や建替え等の更新時期を一斉に迎えるという大きな問題が生じています。老朽化を原因とした事故も各地で発生し、人命に関わるものも少なくありません。また、全国的に財政状況は依然として厳しく、長期的には人口減少等による税収入が伸び悩み、反対に少子高齢化社会の進行に伴う扶助費等の増大が見込まれる中、いかにして公共施設等の維持更新費を抑制していくかが喫緊の課題となっています。

国による、「経済財政運営と改革の基本方針～脱デフレ・経済再生～」(平成 25 年 6 月 14 日閣議決定)における「インフラの老朽化が急速に進展する中、「新しく造ること」から「賢く使うこと」への重点化が課題である。」との認識の下、平成 25 年 11 月には、「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、各地方公共団体においては、こうした国の動きと歩調をあわせ、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画(公共施設等総合管理計画 平成 26 年 4 月 22 日付総財務第 74 号総務大臣通知)の策定を要請されました。これに基づき、南大隅町では平成 28 年度に公共施設等総合管理計画を策定しています。「南大隅町公共施設等総合管理計画」は南大隅町が所有する公共施設等の建替え・大規模改修の基本方針を取りまとめており、公共施設等の総量適正化、長寿命化を実施することで中長期的な維持管理費用の削減を目指しています。

文部科学省では、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を公表し、単なる更新のための改修・改築ではなく、施設を長い期間有効利用できる長寿命化改修への転換、計画的な維持管理に向けた中長期計画の策定・実施の考え方を示しました。また、学校等施設を取り巻く環境の変化とともに、教育内容の多様化や防犯・防災対策、環境配慮、バリアフリーへの配慮など学校等施設に求められるニーズも変化し、建物を長期的に良好な状態で使い続ける長寿命化の考えのもと総合的な観点での整備・管理運営の適正化が求められています。

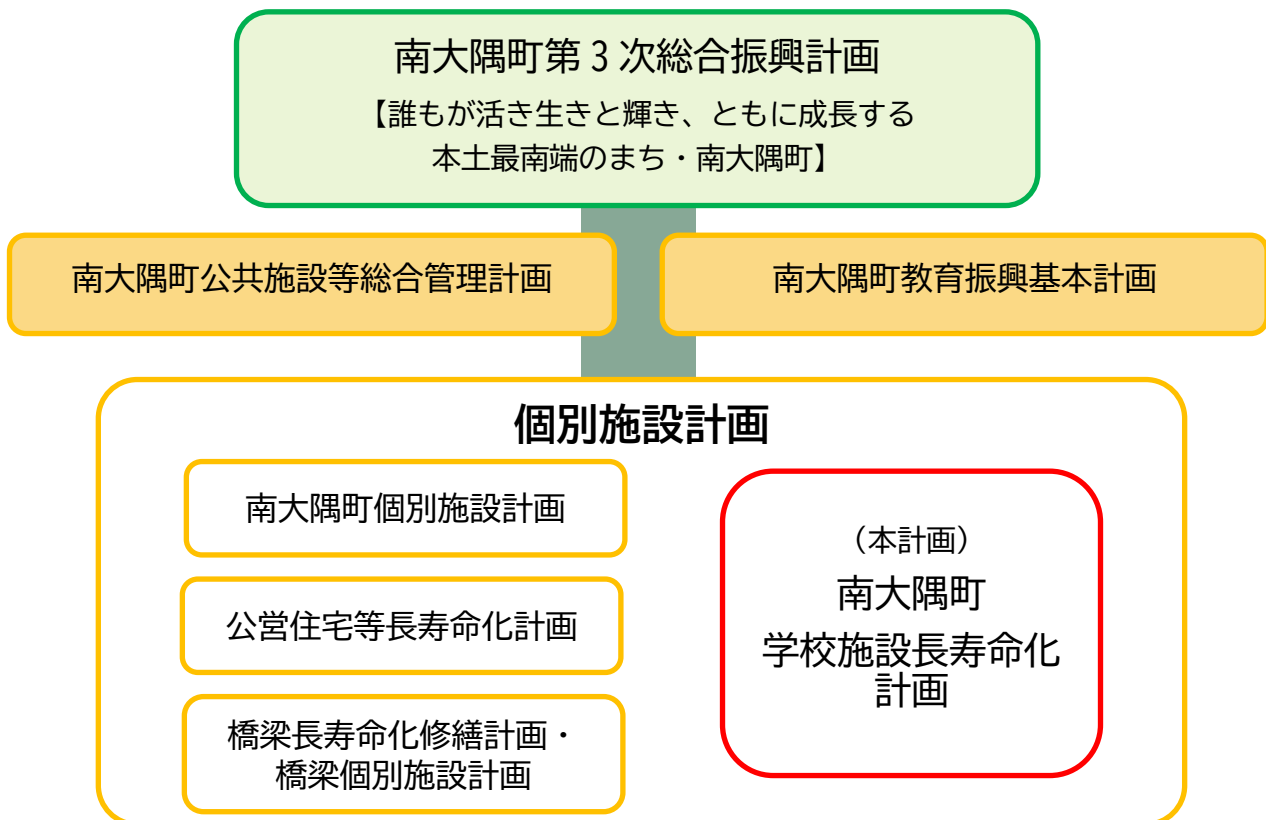
本町においても総合管理計画や総合振興計画を考慮し、学校等施設について長寿命化できるものは長寿命化し、適正に改修をするとともに、教育環境の品質改善も考慮しながら、それに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的として南大隅町学校施設長寿命化計画(以下「本計画」という)を策定しました。

2 目的

本計画は、安全で機能的な学習環境を整備するとともに、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ることを目的とします。

『南大隅町第3次総合振興計画』内で、「ふるさとを誇りに思い、未来を見据えて学び続け、誰もが幸せを感じられるまち」という基本目標を基に、公共施設等の計画的な整備や管理を推進していくことを方針のひとつとして掲げています。

本計画は、2025(令和6)年度に策定した「第二期公共施設等総合管理計画」(以下:総合管理計画)において定めた公共施設等の総合的な管理に関する基本方針を実現するための下位計画であり、施設の重要度及び劣化度に応じて各施設の今後の方針を定め、計画的な保全を行い、安全で機能的な学習環境を整備するとともに、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ることを目的とします。同種の計画として、「公営住宅等長寿命化計画」「個別施設計画」が挙げられます。これらの計画は、本町の将来像を実現する為の実施計画となります。



3 計画期間

本計画の計画期間は、2021(令和3)年度から2030(令和12)年度までの10年間とします。うち、具体的な実施計画は10年間とします。施設改修等の実施時期については、施設の劣化状況などにより、適宜見直しを行うこととし、5年ごとに中間の見直しを行います。

2 学校等施設の目指すべき姿

1 目指すべき姿

南大隅町教育振興基本計画では、以下のように学校施設等のあり方についての施策を定めています。

【基本目標】「未来を担う心豊かでたくましい人づくり」

1. 「知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって自己実現を目指す人間」
2. 「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間」

【今後5年間で取り組む施策】

(3) 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進

Ⅰ 安全・安心な学校づくり

◆ 現状と課題

- 学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、児童生徒の「生きる力」を育むための教育環境として重要な意義をもつだけでなく、地震などの災害発生時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性を確保することなどが極めて重要です。
- 本町の公立学校施設の建物構造体の耐震化率は 100% であり、今後は施設の老朽化対策が必要となっています。
- 本町全ての学校においては、東日本大震災の教訓等を踏まえ、様々な災害を想定して、校内の防災体制を整えるとともに、児童生徒が安全かつ迅速に避難できるよう避難訓練等を実施しているところですが、
今後も引き続き児童生徒に対し、様々な災害に応じた避難方法等を理解させるとともに、児童生徒自らが正しい判断と臨機応変の行動がとれるように指導する必要があります。

◆ 主な取組

- 学校施設を長期にわたり有効に活用するため、老朽化した学校施設の適時適切な改築や改修整備を行うとともに、建物法定点検等により、施設の安全確保を図ります。
- 学校安全教室や避難訓練等の実施により、児童生徒に危険予測・危険回避能力を身に付けさせるための安全教育を積極的に推進します。
- すべての学校において、実態に応じた危険等発生時対処要領を作成するとともに、随時見直しを図り、最新の情報に更新するよう努めます。
- 学校と家庭、地域が連携して、児童生徒自ら緊急時に正しい判断と臨機応変の行動がとれるような指導体制の充実に努めます。
- 警察等と連携し、不審者情報等児童生徒の安全に関する情報を共有し、事件、事故からの安全確保を図ります。

3 学校等施設の実態

1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

① 対象施設一覧

対象施設は、神山小学校、根占中学校、佐多小学校・第一佐多中学校、学校給食センターの 4 施設 8 棟を対象とします。「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(平成 29 年 3 月文部科学省)に従って、小規模な建物(倉庫、部室、便所、概ね 200 m²以下)は対象外としました。

本町の学校関連施設のほとんどの構造が RC(鉄筋コンクリート)造と W(木)造で新耐震基準に適合しています。また、旧耐震基準の、神山小学校屋内運動場は耐震性ありと耐震診断結果が出ていますが、築 30 年以上の施設が半数以上を占めている状況です。

■ 対象施設一覧

| 施設名称 | 建物名称 (棟番号) | 延床面積(m ²) | 建築年度 | 築年数 | 構造 | 耐震基準 |
|---------------|---------------------|-----------------------|-----------|-----|----|------|
| 神山小学校 | 校舎(020) | 3,720 | 2004(H16) | 21 | W | 新 |
| | 屋内運動場(013) | 698 | 1972(S47) | 53 | RC | 旧 |
| 根占中学校 | 校舎(001) | 4,100 | 2001(H13) | 24 | RC | 新 |
| | 屋内運動場(002) | 2,137 | 2001(H13) | 24 | RC | 新 |
| 第一佐多中学校・佐多小学校 | 校舎(教室棟)(001) | 1,915 | 1991(H3) | 34 | W | 新 |
| | 校舎(特別教室棟)(002) | 628 | 1991(H3) | 34 | W | 新 |
| | 屋内運動場(004) | 888 | 1995(H7) | 30 | RC | 新 |
| 南大隅町立学校給食センター | 南大隅町佐多学校給食センター(003) | 442 | 2004(H16) | 21 | RC | 新 |

② 施設の概要

神山小学校の概要

| | |
|------|---|
| 沿革 | 1873(明治 6)年鹿児島県第 62 郷校が神山小学校と改称、2004(平成 16)年新校舎完成 |
| 校訓 | 自ら進んで勉強する子供、礼儀正しく思いやりのある子供、元気でたくましくやりぬく子供 |
| 教育目標 | 美しい教育環境の中で、自ら学び、心豊かでたくましく生きる神山の子の育成 |

佐多小学校の概要

| | |
|------|--|
| 沿革 | 1870(明治 3)年創立、1988(昭和 63)年新校舎落成、平成元年新体育館落成 |
| 校訓 | 「明るく」「かしこく」「たくましく」 |
| 教育目標 | 豊かな感性とたくましく生きる力を持ち、自ら進んで行動できる子供を育てる。 |

根占中学校の概要

| | |
|------|---|
| 沿革 | 2002(平成 14)年、旧根占中、旧滑川中、旧登尾中が統合され、根占中学校が開校 |
| 校訓 | 「自主」「敬愛」「練磨」 |
| 教育目標 | 自ら考え行動し、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒を育成する |

第一佐多中学校の概要

| | |
|------|---|
| 沿革 | 1992(平成 4)年開校(統合)、1993(平成 5)年運動場竣工、1996(平成 8)年体育館落成 |
| 校訓 | 「創造」「自立」「鍛練」 |
| 教育目標 | 豊かな心とたくましい体及び強い意思を備え、自主的に学んで知性を磨き、自らの生きる力を創造しようとする、心身ともに健康で国際性豊かな生徒を育成する。 |

③ 児童生徒数及び学級数の変化

本町の児童生徒数は 2025 年度時点で、300 名を下回り、児童生徒の推移からもわかるように、減少傾向にあります。本町の児童生徒数の推移は、小学校・中学校とそれぞれ減少傾向にあり、令和 8 年度以降微増が予想されますが、減少傾向に変わりはありません。

これまで、2001 年度に根占地区の中学校の統廃合、2013 年に根占地区、佐多地区それぞれ、小学校の統廃合を行ってきた。町全体の人口減少に伴い、複式学級なども発生している。今後も、児童生徒数は減少傾向と想定されることから必要な教室数や部屋の広さなど、変化に合わせた整備を行う必要がある。

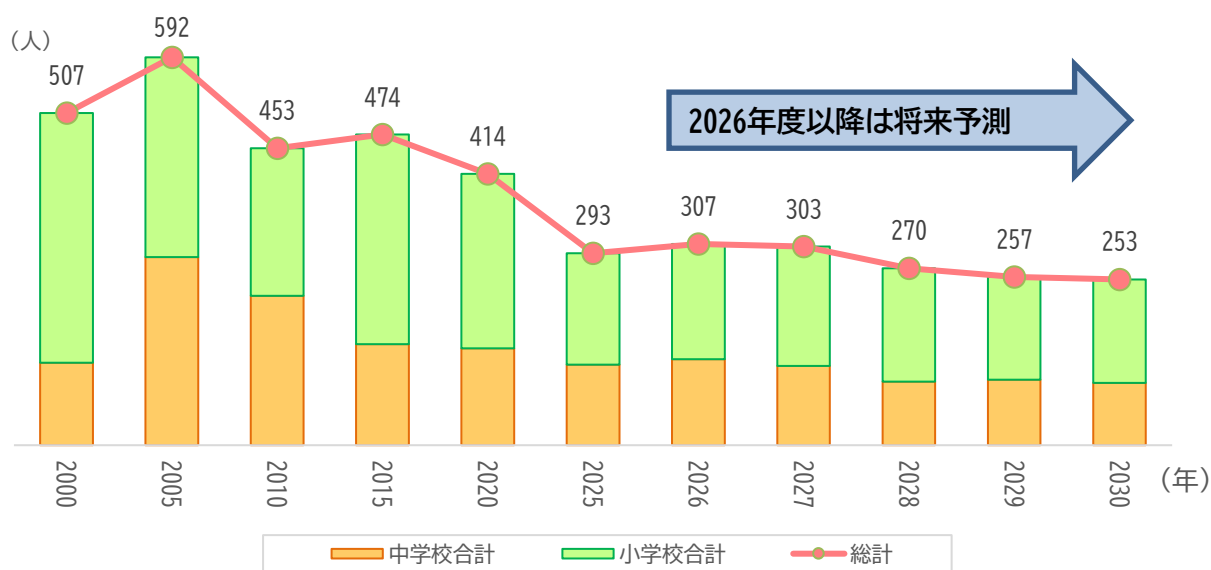
■ 児童生徒数の推移と将来推計

| | 25 | 20 | 15 | 10 | 5 | ※1 | ※2 | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|------|------|---------|------|-------|-------|-------|
| | 年前 | 年前 | 年前 | 年前 | 年前 | 現在 | これからの推移 | | | | |
| | 2000 | 2005 | 2010 | 2015 | 2020 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 |
| | (H12) | (H17) | (H22) | (H27) | (R2) | (R7) | (R8) | (R9) | (R10) | (R11) | (R12) |
| 根占中学校 | — | 191 | 166 | 113 | 119 | 107 | 114 | 104 | 86 | 86 | 84 |
| 第一佐多中学校 | 126 | 96 | 62 | 41 | 29 | 16 | 17 | 17 | 11 | 14 | 11 |
| 神山小学校 | 290 | 245 | 179 | 265 | 228 | 152 | 157 | 167 | 159 | 149 | 152 |
| 佐多小学校 | 91 | 60 | 46 | 55 | 38 | 18 | 19 | 15 | 14 | 8 | 6 |
| 中学校合計 | 126 | 287 | 228 | 154 | 148 | 123 | 131 | 121 | 97 | 100 | 95 |
| 小学校合計 | 381 | 305 | 225 | 320 | 266 | 170 | 176 | 182 | 173 | 157 | 158 |
| 総計 | 507 | 592 | 453 | 474 | 414 | 293 | 307 | 303 | 270 | 257 | 253 |

※1 学校調査票(令和7年5月1日)より

※2 南大隅町教育振興基本計画より

■ 児童生徒数の推移



■ 学級数

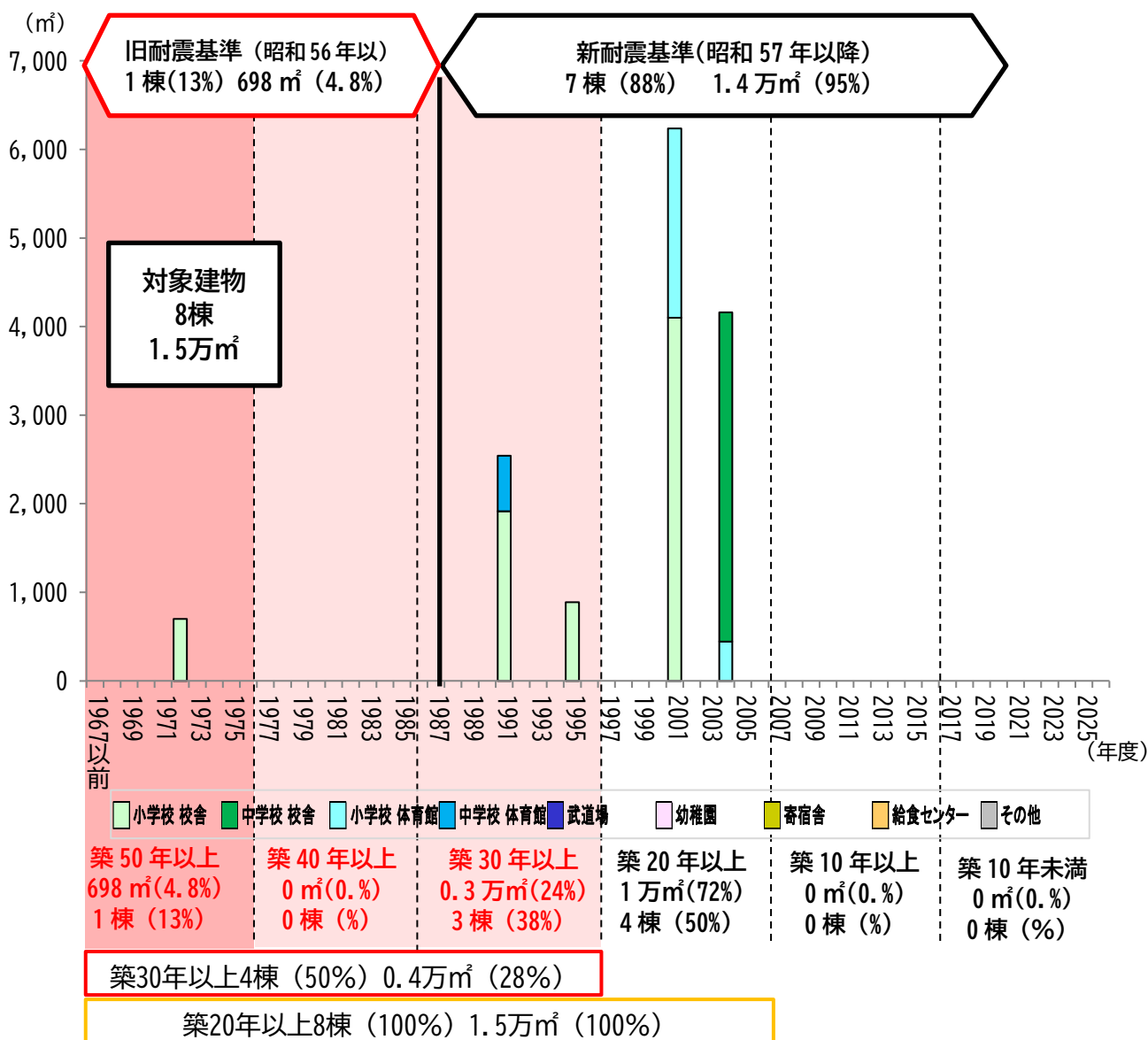
| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 特別支援学級 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 根占中学校 | 1 | 2 | 1 | / | | | 2 |
| 第一佐多中学校 | 1 | 1 | 1 | | | | 1 |
| 神山小学校 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 佐多小学校 | — | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 |

学校調査票(令和7年5月1日)より

④ 学校施設の保有量

対象となる建物は 8 棟あり、総延床面積は 14,528 m²となっています。学校等施設の整備は 1972 年度から 2004 年度にかけて行われています。建築後 30 年が経過している建物は 4 棟あり、この延床面積 4,129 m²は全体の約3割程度になります。1982 年以降の新耐震基準で整備された建物は 7 棟あり、この延床面積 13,830 m²は全体の 9 割以上になります。これら新耐震基準の施設は、基本的に長寿命化を予定します。一方、1982 年以前の旧耐震基準で整備された建物は 1 棟あり、耐震診断結果で耐震性ありと判定されています。

■ 築年別整備状況



⑤ 学校施設の配置

根占地区の小中学校は、土砂災害警戒区域に含まれています。佐多地区の小中学校については、高台にあり、土砂災害や津波浸水想定区域にも含まれていません。避難所機能としての役割を持つ建物もあるため、今後建替えや大規模改修など検討する場合、ハザードマップ等の情報を参考に立地や教室の配置などを検討する必要があります。



⑥ 施設関連経費の推移

本町の施設関連経費の 2020 年度から 2024 年度の推移について示しています。施設関連経費の 5 年間の平均経費は、約 4,700 万円となっています。この約 4,700 万円は、投資的経費にかかる財源の目安とし、今後の施設関連経費は約 4,700 万円の規模を想定します。

■ 施設関連経費の推移(円)

| | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
|----------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 施設整備費 | 0 | 0 | 0 | 12,356,000 | 72,116,700 |
| その他施設整備費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 維持修繕費 | 10,697,700 | 8,630,680 | 4,868,905 | 12,588,043 | 9,226,123 |
| 光熱水費・委託費 | 18,581,018 | 19,673,936 | 22,459,733 | 19,575,941 | 24,298,564 |
| 合計 | 29,278,718 | 28,304,616 | 27,328,638 | 44,519,984 | 105,641,387 |

■ 5年間の平均額(円)

| | 施設整備費 | その他施設整備費 | 維持修繕費 | 光熱水費・委託費 | 5年間の平均額の合計 |
|---------|------------|----------|-----------|------------|------------|
| 5年間の平均額 | 16,894,540 | 0 | 9,202,290 | 20,917,838 | 47,014,669 |

■ 学校施設関係経費の説明

| | |
|----------|--------------------------|
| 施設整備費 | 主に建物の整備にかかる経費 |
| その他施設関連費 | プール、グラウンド、共用設備等の整備にかかる経費 |
| 維持修繕費 | 需用費_施設修繕料、需用費_その他修繕料 等 |
| 光熱水費・委託費 | 需用費_光熱水費、委託料 |

■ 直近の施設整備状況

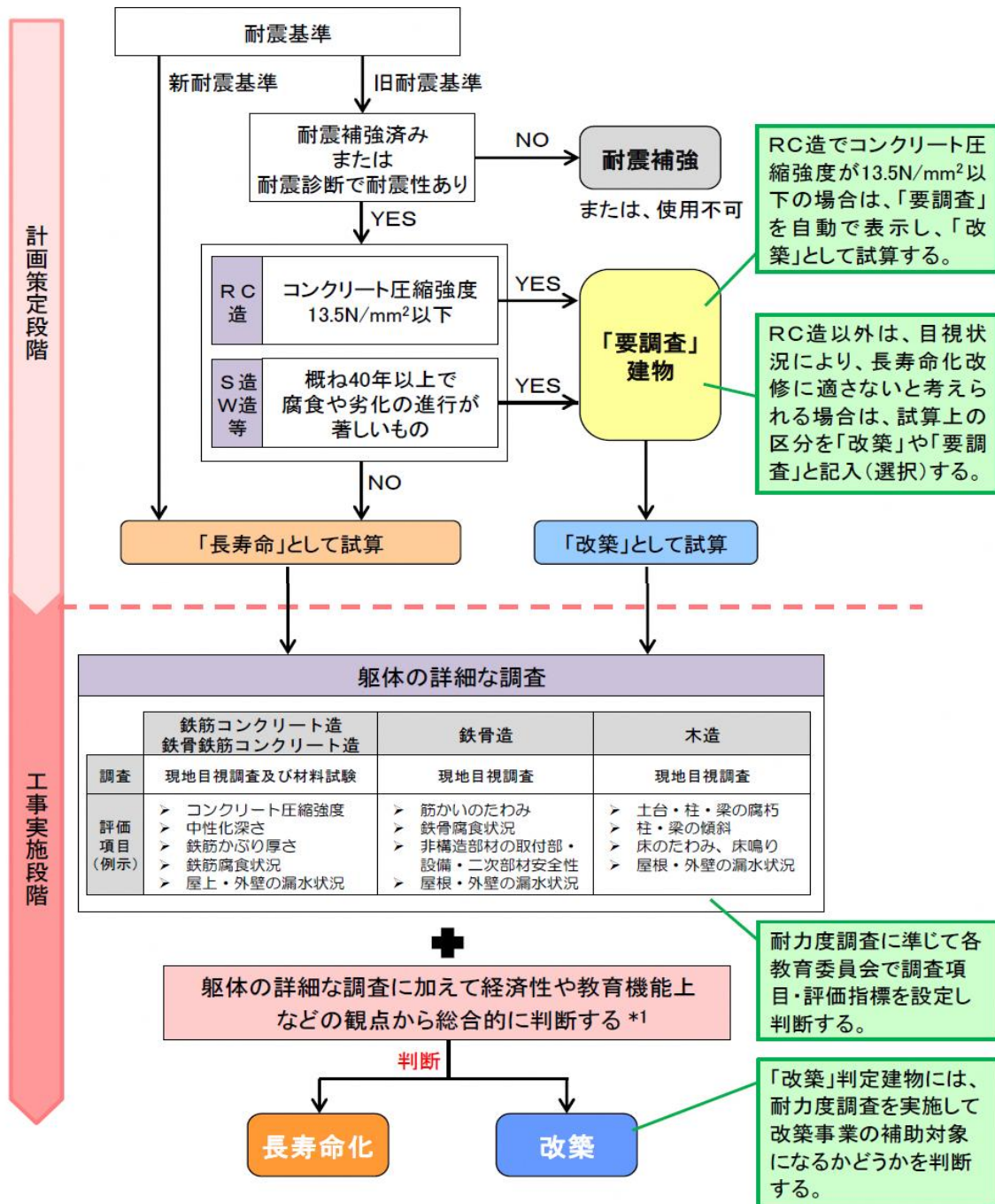
| 工事実施年度 | 工事内容 |
|--------|-----------------------|
| 2019 | 各小中学校空調設備 |
| 2023 | 第一佐多中学校・佐多小学校 受配電設工事 |
| 2024 | 第一佐多中学校・佐多小学校 内部改修工事 |
| 2023 | 神山小屋内運動場建替基本・実施設計業務委託 |
| 2024 | 神山小屋内運動場建替基本・実施設計業務委託 |

2 学校施設老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性

文部科学省の示す構造躯体の健全性について、RC造ではコンクリート圧縮強度 13.5N/mm^2 を基準とし、数値を超える場合は「長寿命化」可能施設と判定し、数値以下の場合には「要調査」施設とすることとします。構造躯体の健全性の評価に関しては、旧耐震基準の建物に対してのみ行い、過去に実施した耐震診断結果の数値を用いて評価しています。

■ 構造躯体の健全性



*1 例えば、時を重ねて活用され続けた木造建物等は、それ自体が文化財的価値を有することも多く、改築に際しては、こうした観点からの検討も別途行う必要がある。

(2)構造躯体以外の劣化状況

構造躯体以外の劣化状況については、現地調査にて部位別老朽化度を判定します。「屋根・屋上・外壁」は目視点検し、「内部仕上げ・電気設備・機械設備」は部位の全面的な改修年からの経過年数を基に以下の調査票、評価基準等を用いて、A・B・C・Dの4段階で判定をしています。

■ 劣化状況調査票

| 施設名 | | 財産番号 | | 調査日 | | |
|---|---|---------------------|---|-------|------|----|
| 建物名 | | 整理番号 | | 記入者 | | |
| 構造種別 | 延床面積 | m2 | | 建築年月日 | | |
| 部位 | 仕様 (該当する項目にチェック) | 工事履歴(部位の更新) 工事内容 | 劣化状況 (複数回答可) | | 特記事項 | 評価 |
| | | | 箇所数 | | | |
| 1 屋根 屋上 | <input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 | | <input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある | | | |
| | <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 | | <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り跡がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 | | <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れがある | | | |
| | <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折版) | | <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) | | <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他の屋根() | | <input type="checkbox"/> 樋やルーフ・レインを目視点検できない | | | |
| | 最終工事年度 | | <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある | | | |
| 2 外壁 | <input type="checkbox"/> 塗仕上げ | | <input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある | | | |
| | <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り | | <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> 金属系パネル | | <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ | | | |
| | <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) | | <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他の外壁() | | <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ | | <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> 銅製サッシ | | <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス | | <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽 | | | |
| 最終工事年度 | <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある | | | | | |
| 部位 | 改修・点検項目 | 改修・点検年度 | 特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項) | | 評価 | |
| 3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等 | <input type="checkbox"/> 老朽改修 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> エコ改修 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> トイレ改修 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 法令適合 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> LAN | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 空調設置 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> バリアフリー対策 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 防犯対策 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事 | | | | | | |
| 4 電気設備 | <input type="checkbox"/> 分電盤改修 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事 | | | | | |
| 5 機械設備 | <input type="checkbox"/> 給水配管改修 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 排水配管改修 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 消防設備の点検 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事 | | | | | |
| 特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載) | | | | | | |
| | | | | | 健全度 | |
| | | | | | | |

■ 劣化状況評価基準

| 内容 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|-----|-----|---|------|---|----------------------|---|--------------------------|---|---|----|-------|---------|-------|------|--------|---------|-------|--------|-----------------------|--------|-----|---|
| 劣化状況評価 | 屋根・屋上、外壁、内部仕上げは目視にて、電気設備機械設備は部位の全面的な改修年から経過年数を基本に A、B、C、D の4段階で評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>評価基準</p> <p>目視による評価【屋根・屋上、外壁】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>概ね良好</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の見し)</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)(躯体の耐久性に影響を与えている)(設備が故障し施設運営に支障を与えている)等</td> </tr> </tbody> </table> <p>経過年数による評価【内部仕上げ、電気設備、機械設備】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>20年未満</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>20～40年</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>40年以上</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合</td> </tr> </tbody> </table> | 評価 | 基準 | A | 概ね良好 | B | 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし) | C | 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の見し) | D | 早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)(躯体の耐久性に影響を与えている)(設備が故障し施設運営に支障を与えている)等 | 評価 | 基準 | A | 20年未満 | B | 20～40年 | C | 40年以上 | D | 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合 | | | |
| 評価 | 基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A | 概ね良好 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B | 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C | 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の見し) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| D | 早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)(躯体の耐久性に影響を与えている)(設備が故障し施設運営に支障を与えている)等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | 基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A | 20年未満 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B | 20～40年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C | 40年以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| D | 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 健全度判定 | 建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>①部位の評価点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価点</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>②部位のコスト配分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>コスト配分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 屋根・屋上</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>2 外壁</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>3 内部仕上げ</td> <td>22.4</td> </tr> <tr> <td>4 電気設備</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>5 機械設備</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>③健全度</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総和(部位の評価点 × 部位のコスト配分) ÷ 60 </div> | 評価点 | 評価点 | A | 100 | B | 75 | C | 40 | D | 10 | 部位 | コスト配分 | 1 屋根・屋上 | 5.1 | 2 外壁 | 17.2 | 3 内部仕上げ | 22.4 | 4 電気設備 | 8.0 | 5 機械設備 | 7.3 | 計 |
| 評価点 | 評価点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B | 75 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| D | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部位 | コスト配分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 屋根・屋上 | 5.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 外壁 | 17.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 内部仕上げ | 22.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 電気設備 | 8.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 機械設備 | 7.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【引用】文部科学省 学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

■ 判定例(例:屋根・屋上)

| 仕様 | 良好 | | 劣化 | |
|------------|--|---|--|--|
| | A | B | C | D |
| アスファルト保護防水 |  良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。 |  広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。 |  広範囲に、損壊、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。 |
| アスファルト露出防水 |  良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、ふくれ、変質(摩耗)、排水不良がある。 |  広範囲に、ひび割れ、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。 |  広範囲に、破断、損壊、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。 |
| シート防水 |  良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、ふくれ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。 |  広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。 |  広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。 |

(3)劣化状況調査結果

本町の学校等施設の劣化状況判定結果を以下の一覧表にまとめました。健全度が低い施設について、施設の各部位について早期に改修が必要です。健全度が低い施設としては、40点未満の施設が2施設あり、特に評価判定がD判定やC判定の部位については、早期に改修が必要となります。

旧耐震基準の神山小学校屋内運動場については、劣化状況や築年数を踏まえて建替えることが決定しております。

■ 劣化状況調査結果一覧

| 建物基本情報 | | | | | | | | | | | | 劣化状況評価 | | | | | | |
|--------|---------------|----------------|----|------|-----------------------|------|-----|-----|------|----|----|--------|------|----|------|------|------|-----|
| 通し番号 | 施設名 | 建物名 | 構造 | 地上階数 | 延床面積(m ²) | 建築年度 | | 築年数 | 耐震基準 | 診断 | 補強 | 構造耐震指標 | 屋根屋上 | 外壁 | 内部仕上 | 電気設備 | 機械設備 | 健全度 |
| | | | | | | 西暦 | 和暦 | | | | | | | | | | | |
| 1 | 神山小学校 | 屋内運動場 | RC | 1 | 698 | 1972 | S47 | 53 | 旧 | 済 | 未 | 1.12 | D | B | D | C | C | 36 |
| 2 | 神山小学校 | 校舎 | W | 2 | 3,720 | 2004 | H16 | 21 | 新 | - | - | - | B | B | B | B | B | 75 |
| 3 | 根占中学校 | 校舎 | RC | 3 | 4,100 | 2001 | H13 | 24 | 新 | - | - | - | C | C | B | B | B | 65 |
| 4 | 根占中学校 | 屋内運動場 | RC | 2 | 2,137 | 2001 | H13 | 24 | 新 | - | - | - | D | C | B | B | B | 63 |
| 5 | 第一佐多中学校・佐多小学校 | 校舎 | W | 2 | 1,915 | 1991 | H3 | 34 | 新 | - | - | - | D | D | B | B | B | 56 |
| 6 | 第一佐多中学校・佐多小学校 | 校舎(特別教室棟) | W | 2 | 628 | 1991 | H3 | 34 | 新 | - | - | - | D | D | B | B | B | 56 |
| 7 | 第一佐多中学校・佐多小学校 | 屋内運動場 | RC | 2 | 888 | 1995 | H7 | 30 | 新 | - | - | - | B | B | B | B | B | 75 |
| 8 | 南大隅町立学校給食センター | 南大隅町佐多学校給食センター | RC | 1 | 442 | 2004 | H16 | 21 | 新 | - | - | - | D | D | C | B | C | 36 |

3 今後の維持・更新コスト(従来型)

計画対象の学校等施設について20年周期で大規模改造を実施し、50年周期で現状規模のまま改築した場合、今後40年間で94億円かかる見込みとなります。過去の施設関連費用が年間0.7億円に対して更新費用は年平均2.3億円必要とし、4.6倍となる見通しです。

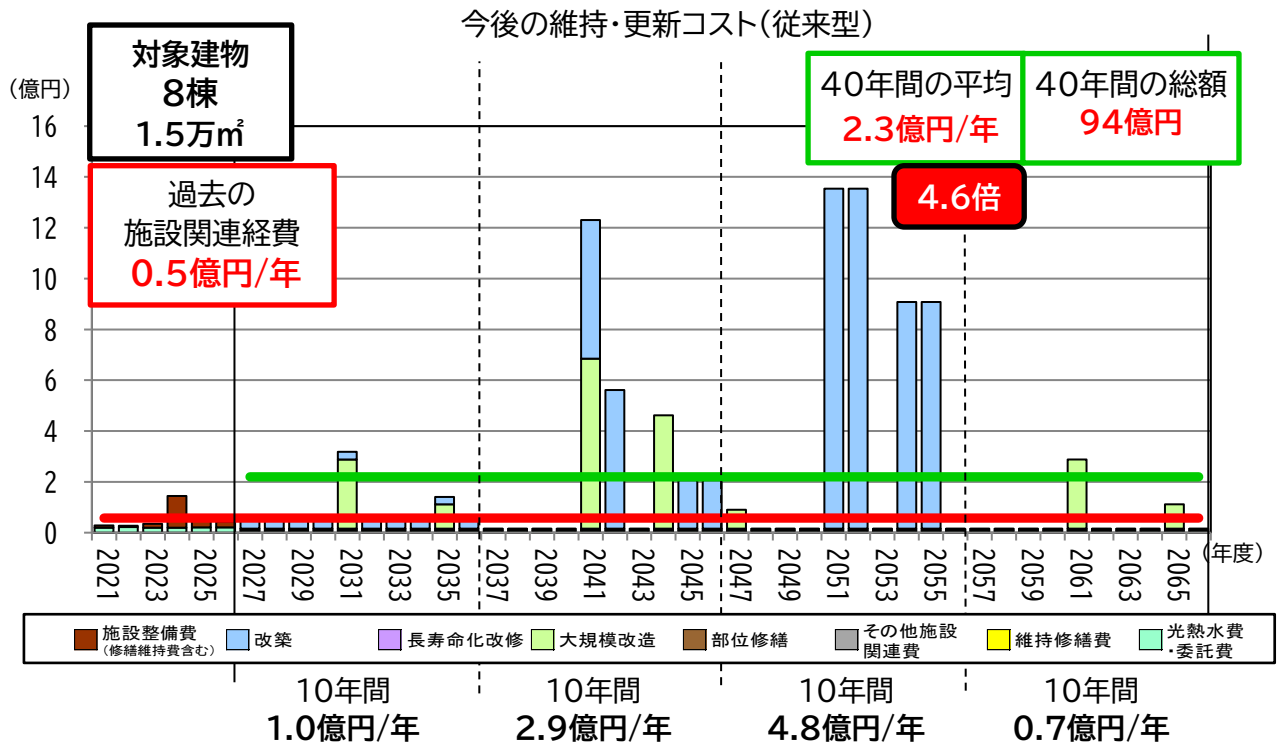
■ コスト試算条件(従来型)

| 項目 | 改築 | 大規模改造 |
|--------|--------------------------|----------|
| 周期 | 60年 | 20年 |
| 工事単価 | 429,000円/m [※] | 改築単価の25% |
| 工事期間 | 2年 | 1年 |
| その他の条件 | 実施年数より古い建物は今後10年以内に工事を実施 | - |

※一般財団法人地域総合整備財団「公共施設等更新費用試算ソフト」における【学校教育系施設】更新単価(計画策定時)を参考に、「建設工事費デフレーター」(国土交通省:令和7年10月31日付け)1.3倍を使用し、単価設定

4 学校の実態を踏まえた課題の整理

■ 更新費用推計グラフ(従来型)



① 児童生徒の減少

児童生徒数の減少により、グループ学習や部活動の実施が難しくなることが予測されます。また、今後更に空き教室がでてくることも予測されます。将来の児童生徒数を見据えた施設整備が必要です。

② 劣化状況

築30年以上の建物が半数あり、神山小学校屋内運動場を除いて、すべての校舎・体育館は、耐震性が確保されています。

しかし、本町は沿岸部に面しており、潮風、台風の影響を受けています。そのためコンクリート構造の劣化の進度が速いと考えられる為、定期的な調査の実施や不具合箇所の早期把握と対応を行っていく必要があります。また、校舎については、木造部分が多い為、定期的な修繕が必要になります。

③ 維持・更新費用の財源確保

維持・更新費用の試算結果を見ると、大規模改造も改築も時期が分散することがわかります。しかし、多くの施設が劣化による改修等が必要な部位があります。そのため、整備計画の作成、財源確保(基金の準備等)に取り組むとともに、単年に係る維持・更新費用の平準化を行っていく必要があります。

4 学校施設整備の基本的な方針等

1 施設整備の基本的な方針

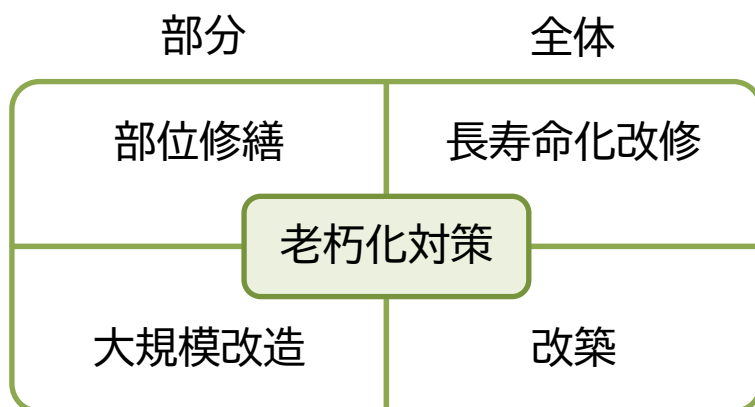
① 学校施設の長寿命化計画の基本方針

施設の更新や改修などの整備方法として、事後保全と予防保全の2つが挙げられます。施設の更新や改修について、従来の施設整備では事後保全が適用されています。事後保全は建物に劣化や破損など不具合が発生してから保全を行う整備方法で、長期間における機能の維持や使用が困難になる可能性があります。

これに対して予防保全では、施設に不具合が生じる前にメンテナンスを施し、それに伴う多額の費用の発生を抑えることができます。また、計画的な修繕を行うことで、従来の事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができます。

学校等施設の老朽化対策としては改築と改修があり、学校等施設の長寿命化個別計画では、以下の図の様に 4 つの概念に整理されます。この中でも、長寿命化改修は、建物全体を改修し、併せて性能向上も伴うものとなります。部位修繕は、経年劣化した建物の部分を既存のものを用いて原状回復を図ることであり、長寿命化、大規模改修を今後 10 年以内に実施する場合を除き、今後 5 年以内に劣化状況がD判定評価の部位の修繕を、今後 10 年以内にC評価の部位の修繕を実施します。

■老朽化対策の内容



(学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書より)

2 学校等施設の規模・配置計画等の方針

学校等施設の配置については、これまでに形成された地域コミュニティを維持するため、基本的に現状を維持するものとします。ただし、将来の児童数・学級数に変化が出てくることが想定されますので、社会経済情勢の変化を考慮し、適正な配置見直しを検討します。

3 改修等の基本的な方針

本計画では、教育振興基本計画、総合管理計画に基づき学校施設整備の基本的な方針を定めています。

① 施設整備の方針

施設の改修などの整備方法として、「事後保全」と「予防保全」の2種類が挙げられます。「事後保全」は建物に劣化や破損など不具合が発生してから保全を行う整備方法で、長期間における機能の維持や使用が困難になる可能性があります。

これに対して「予防保全」は、施設に不具合が生じる前にメンテナンスを施す整備方法で、改修等に伴う多額の費用の発生を抑えることができます。また、計画的な修繕を行うことで、施設を長く使用することができます。

② 長寿命化の方針

中長期的な維持管理にかかるトータルコストの削減、予算の平準化を実現するために以下に示すような建物を除き、長寿命化改修を実施します。

○長寿命化改修しない施設

- ・コンクリート強度が著しく低い建物(13.5N/mm²以下)
- ・鉄筋コンクリートの劣化が激しく、改築した方が安価となる建物
- ・基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している建物
- ・環境の安全性が欠如している建物
- ・学校施設の適正配置など地域の実情により改修せざるを得ない建物

■ 長寿命化改修の工事例

| 改修効果 | 対策内容 |
|--------|--|
| 耐久性の向上 | 構造躯体の経年劣化を回復するもの (コンクリートの中酸化対策や鉄筋の腐食対策等) |
| | 耐久性に優れた仕上げ材へ取り換えるもの (劣化に強い塗装・防水材等の使用) |
| | 維持管理設備更新の容易性を確保するもの |
| | 水道、電気、ガス管等のライフラインの更新 |
| 性能の向上 | 安全・安心な施設環境を確保するもの (耐震対策、防災機能の強化、事故防止・防犯対策) |
| | 教育環境の質的向上を図るもの (近年の多様な学習内容・学習形態への対応) (今後の学校教育や情報化の進展に対応可能な計画) (省エネルギー化・再生可能エネルギーの活用) (バリアフリー化)(木材の活用) |
| | 地域コミュニティの拠点形成を図るもの (防災機能の強化)(バリアフリー化) (地域住民の利用を考慮した教室等の配置変更) |
| | |

【参考】文部科学省 学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

③ 目標使用年数、改修周期の設定

本町の目標使用年数は、建物の構造別に目標耐用年数が示されている「建築物の耐久計画に関する考え方」(日本建築学会)では、鉄筋コンクリート造など、普通品質で 50～80 年、高品質では 80～120 年を望ましい目標耐用年数としていることを踏まえ、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造を 80 年(普通の品質の場合の上限値)と設定します。同様に、木造については、学校・官庁であれば 50 年～80 年、住宅・事務所等であれば 30 年～50 年と用途によって大きく異なる為、本町では 50 年を目標とします。

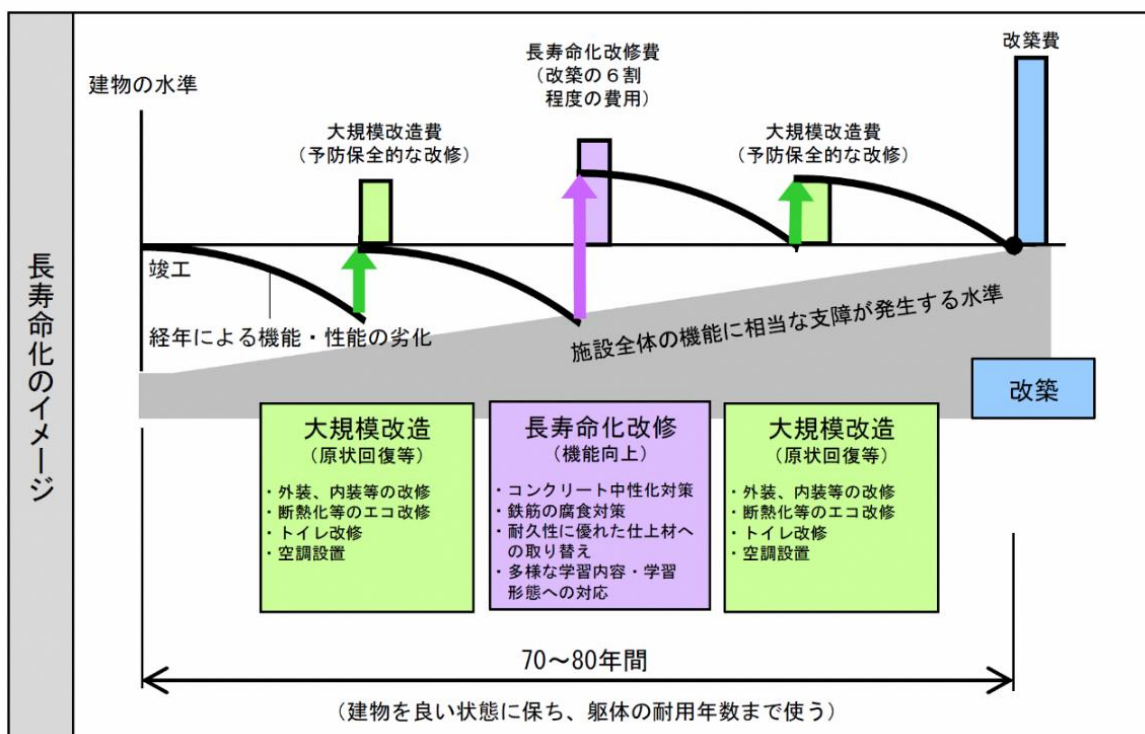
大規模改造の周期を 20 年、60 年、長寿命化改修の周期を 40 年とします。木造・ブロック造は、大規模改修の周期 20 年、40 年を実施しながら、目標使用年数を 50 年とします。安全で安心して利用できる公共施設を継続的に使用するため、計画的に点検や改修等を行い、施設の長寿命化を進めていく必要があります。

■ 目標使用年数表

| 鉄筋コンクリート造 | 鉄骨造 | 木造・ブロック造 |
|-----------|------|----------|
| 80 年 | 80 年 | 50 年 |

■ 長寿命化の場合の改修周期

| 構造 | 大規模改造の周期 | 長寿命化改修の周期 | 改築 |
|-----------|-----------|-----------|------|
| 鉄筋コンクリート造 | 20 年／60 年 | 40 年 | 80 年 |
| 鉄骨造 | 20 年／60 年 | 40 年 | 80 年 |
| 木造・ブロック造 | 20 年／40 年 | | 50 年 |



【引用】文部科学省 学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

5 長寿命化による効果

1 学校等施設の規模・配置計画等の方針

従来の「事後保全型」ではなく、施設に不具合が生じる前にメンテナンスを施す「予防保全型」の整備方法で計画的な修繕を行うことで、施設を長く使用することができます。従来の改築中心ではなく予防保全を計画的に行い、長寿命化を行った場合の維持・更新費用を試算しています。試算をするにあたって、第3章の劣化状況調査結果をもとに、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」の単価設定を用いて試算しています。

その結果、2026年から10年間の施設関連経費は約17億円、40年間では68億円となり、従来型の場合より、26億円の費用削減が見込まれます。過去5年の施設関連経費が年平均0.5億円に対して今回の試算結果では、年平均1.7億円必要となり、3.4倍となる見通しです。長寿命化型の維持・更新費用試算結果からもわかるとおり、初めの20年間は、ほとんどの施設で長寿命化改修が行われるため、後の20年間は費用の削減が見込まれる。

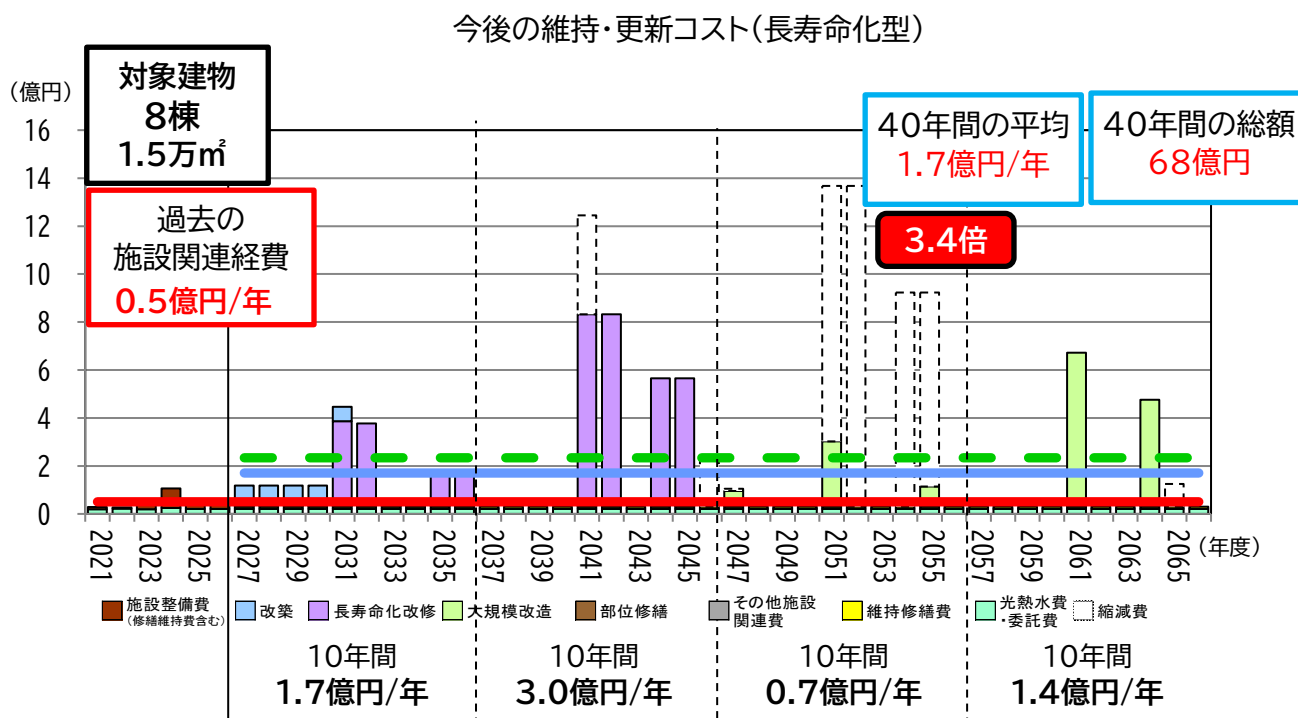
■コスト試算条件(長寿命化型)

| 工事内容 | 部位修繕 | | 大規模改造 | 長寿命化改修 ^{※1} | 改築 |
|----------------------------|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| | D判定 | C判定 | | | |
| 実施周期 | 今後5年以内 | 今後10年以内 | 20年 | 40年 | 80年 |
| 工事期間 | 1年 | 1年 | 1年 | 2年 | 2年 |
| 単価 ^{※2} | 校舎 給食センター | 部位修繕単価 | 107,250円/㎡ | 257,400円/㎡ | 429,000円/㎡ |
| | 体育館 | | 94,380円/㎡ | | |
| 備考 | 部位修繕以外の改修を5年以内 に実施する場合は行わない | 部位修繕以外の改修を10年以内 に実施する場合は行わない | 改築、長寿命化改修の前後10年間に 重なる場合は実施しない | 実施年数を過ぎた建物の改修を 10年以内 に実施 | 実施年数を過ぎた建物の改築を 10年以内 に実施 |
| 部位修繕単価 ^{※2} (円/㎡) | | | | | |
| | 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上 | 電気設備 | 機械設備 |
| 校舎・ 給食センター | 11,550 | 16,830 | 18,480 | 13,200 | 12,210 |
| 体育館 | 9,900 | 11,550 | 18,480 | 15,840 | 5,610 |

※1 劣化調査結果がA判定の場合10年以内の長寿命化改修から部位修繕額を除く

※2 文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書「附属エクセルソフト」の単価設定を用いた

■更新費用推計グラフ(長寿命化型)



④ 長寿命化の効果

長寿命化改修の効果としては、年平均の維持・更新費用が従来型の年平均 2.3 億円に比べ、長寿命化型が年平均 1.7 億円と 0.6 億円の削減となり、40 年で 26 億円の削減につながります。このように、長寿命化型のサイクルで施設の維持管理を行うことで将来的な維持・更新費用削減や、毎年かかる費用の負担を平準化する効果があります。

また、その他のメリットとしては、工期短縮の効果が挙げられます。デメリットとしては、既存躯体を利用するため間取りの変更などに制約があるなどが挙げられます。

■ 改築と長寿命化改修のメリットとデメリット

【参考】文部科学省 学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

| 比較 | メリット | デメリット |
|--------|--|---|
| 改築 | <ul style="list-style-type: none"> 設計や施工上の制約が少ない (高層化や地下階の拡大が容易に可能、設計や施工は比較的容易、耐震基準、法規などについては最新のものに対応が容易) | <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物が大量に発生する 既存建物の解体と廃棄に費用と時間がかかる 工事に時間と費用がかかる |
| 長寿命化改修 | <ul style="list-style-type: none"> 工期短縮、工事費の削減ができる 廃棄物が少ない | <ul style="list-style-type: none"> 設計や施工上の制約が多い (柱・耐力壁などの既存躯体を利用するため間取りの変更に制約が生じる場合がある) |

2 改修等の整備水準

本計画における改修等の基本方針を踏まえ、改修工事等における改修内容を検討します。構造体の長寿命化や内外装仕上げ等の改修、設備更新や必要な防災機能の付加など、建物の安全性を確保します。機能性や快適性など、学校生活の場として必要な環境の確保・維持や、必要に応じて社会ニーズに応じた機能付加などを図っていきます。環境や省エネ化についても、安全性や機能性の確保と合わせて、効率的に対応が可能となる方策については、ニーズや費用等を勘案しながら整備を進めていきます。

■ 部位改修工事等における改修内容

| 部位 | 改修内容 |
|--------------|--|
| 屋根・屋上 | 屋根・屋上においては、躯体や建物内部への漏水を防止し建物の劣化を抑えるために、用途にあった防水材を使用して補修、張替えをします。防水材の材料は、今後の供用年数や劣化状況を考慮し、塗膜防水、シート防水及び屋根材等で、最も費用対効果の高いものを選定します。 |
| 外壁 内部仕上げ | 外壁においては、躯体や仕上げの劣化防止や落下防止の為、ひび割れ、浮き及びはく落等の劣化状況に応じて、ひび割れ補修・注入・モルタル補修・塗装塗替等、内部仕上げにおいても外壁と同じで、用途、劣化状況に応じて、ひび割れ補修・モルタル補修・張替・塗装塗替等で最も費用対効果の高いものを選定します。 |
| 電気設備 機械設備 | 設備機器の老朽化対策では、日常点検、消耗部品の定期交換によって故障を未然に防ぐとともに、必要に応じて物理的耐用年数の長い機器を選定します。また、設備配管の老朽化対策では、洗浄工法、更正工法及び更新工法等、今後の供用年数を考慮し、最も費用対効果の高い対策工法を選定します。 |

■ 性能向上における改修内容

| 安全・安心な施設環境を確保するもの | 教育環境の質的向上を図るもの | 地域コミュニティの拠点形成を図るもの |
|-------------------|-------------------|--------------------|
| 防犯・防災機能の強化 | 多様な学習形態を展開するための空間 | 地域に開かれた学校 |
| 快適な学習環境 | ICT環境の充実 | 地域の防災拠点の整備 |
| ユニバーサルデザインの導入 | 教育ニーズに応じた環境整備 | |
| エコスクールへの取り組み | | |

6 施設整備の実施計画

1 改修等の優先順位付けと実施計画

①施設評価及び優先順位

長寿命化改修の整備計画及び実施計画を策定するために、下記の基本方針と個別方針に基づき改修の優先順位を算出します。

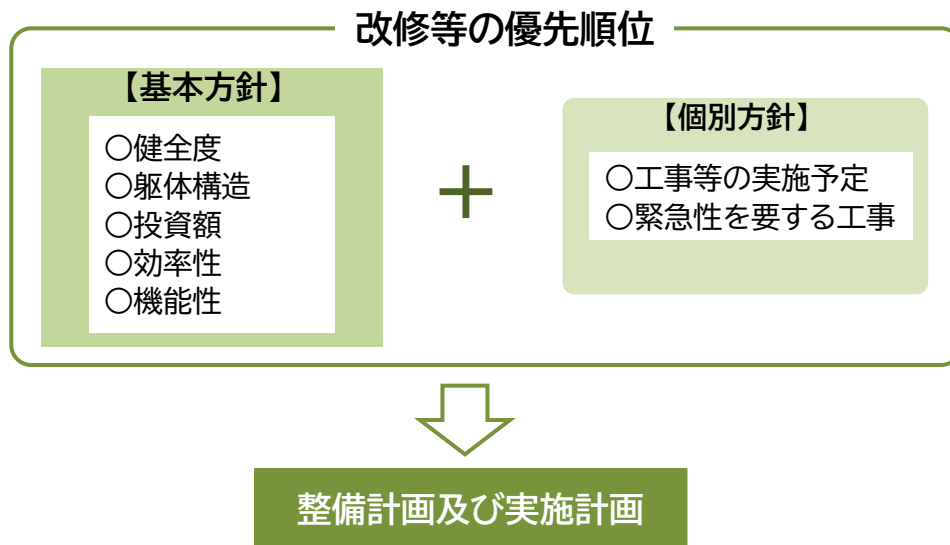
■ 基本方針

| 項目 | 条件内容 |
|------|--|
| 健全度 | 劣化状況調査結果を踏まえ、 健全度の低いものを優先的に実施 します。 |
| 構造躯体 | 構造躯体の状況について、鉄筋コンクリート造は、基本的にすべて長寿命化改修を行います。ただし、コンクリート圧縮強度が 13.5N/mm ² 以下の建物は長寿命化に適するかを調査します。木造・ブロック造については長期間の使用に耐えうる可能性が低いため長寿命化改修は行わず、更新期間で改築を行う方針とします。 |
| 投資額 | これまでの支出実績の傾向及び国庫補助等を勘案し、1年間に実施可能な投資額を 0.5 億円程度 とします。 |
| 効率性 | プールとプール付属棟を同時に工事するというような 一体的な工事の実施 や、複数棟ある校舎などでは 効率的な工事を実施する (まとめて実施する、あるいは数カ年にわたり続けて実施する)計画とします。 |
| 機能性 | 改修、整備にあたっては、災害時の避難所機能の確保、バリアフリー化整備計画に則った整備の推進、省エネルギー化・脱炭素化など環境負荷の低減、将来的な人口動向を踏まえた柔軟な施設利用に配慮し、安全性・利便性・持続可能性を兼ね備えた施設整備を推進します。 |

■ 個別方針

| 項目 | 条件内容 |
|-----------|---------------------------------------|
| 工事等の実施予定 | 各学校において、現時点で予定されている改修工事等の実施を考慮します。 |
| 緊急性を要する工事 | 各学校において、緊急性を要する工事については優先して改修工事等を行います。 |

<改修等の優先順位と整備計画及び実施計画の位置づけ>



図表は、建物の整備を行う優先順位を示した一覧表です。改修等優先順位の基本方針では劣化状況調査結果を踏まえ、健全度の低い建物から優先し整備を行います。ただし、現時点で改修工事等を計画している建物は、計画が優先されます。建物の劣化診断による健全度は、40点未満となっている建物が2棟となります。これらは、優先的に整備を進めます。健全度が40点を超える建物については、過去の大規模改造なども考慮し経過年数に応じて整備を進めます。また、倉庫など小規模な施設については、主要な施設(校舎等)の改修時に改修を行うこととします。

直近10年の実施計画は、施設整備に充当できる投資額、施設の健全度・優先順位・更新時期を考慮し実施計画を作成しました。直近10年度の施設改修予定としては、神山小学校屋内運動場建替え、根占中学校、佐多小学校・第一佐多中学校、給食センターの改修工事を予定しています。この10年間の更新や維持に擁する工事の合計金額は約18.9億円となります。また、解体金額が3.5億円かかる見込みです。この計画に定めた改修等の実施時期については、施設の劣化状況などにより見直しを適宜行うこととします。

■直近10年の実施計画

巻末「直近10年の実施計画」参照

7 長寿命化計画の継続的運用方針

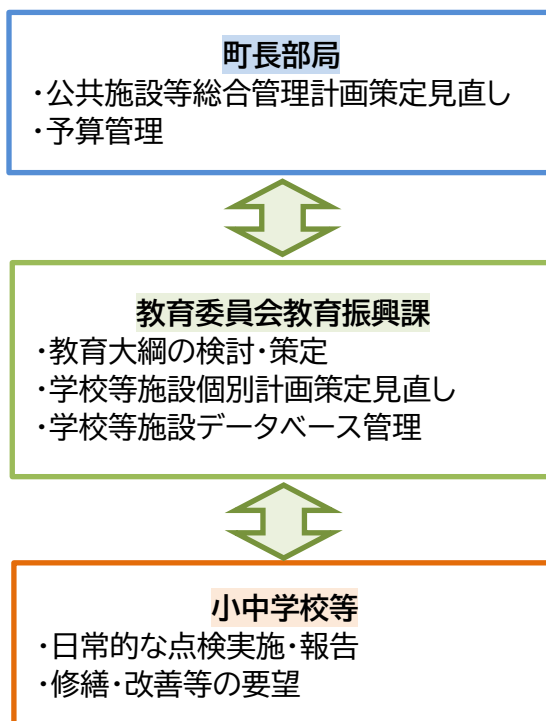
1 情報基盤の整備と活用

本計画を作成するにあたって把握した固定資産台帳・学校施設台帳・劣化状況調査票などと法定点検の結果や光熱水費などの維持管理費、工事履歴などの学校等施設データベースを固定資産台帳システムと連携させデータの集約をするなど有効的な管理方法を検討します。



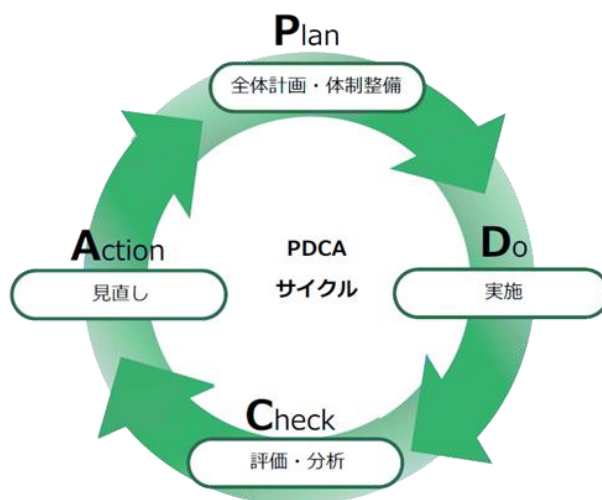
2 推進体制等の整備

学校等施設の整備・管理の所管である教育委員会教育振興課が中心となって、町長部局や小中学校等と連携し本計画の推進を図ります。施設の長寿命化を実施するためには、学校等施設の日常点検や定期点検を行い、老朽化箇所や危険箇所の早期発見が必要となります。そのためにも、職員の知識の向上や点検業務の外部委託等の検討を行います。さらに、総務課財政係などの関係部署との連携を図り、予算の調整や施設統廃合の検討を行います。具体的な施設運営の手法については、民間活力を施設の整備や管理に導入する等、民間事業者等の資金やノウハウの活用を検討していきます。



3 フォローアップ

本計画は、学校等施設の改修や改築などの優先順位を設定するものであり、整備計画及び実施計画における予算措置を行います。右図のPDCAサイクルによるフォローアップを実践し、財政負担の平準化並びに軽減を同時に実現できるようマネジメントに取り組みます。なお、本計画は、事業の進捗状況、劣化状況などを反映して、実施計画等の見直しを行います。



| 施設名称 | 建物名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年度 (築年数) | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 | 2031 | 2032 | 2033 | 2034 | 2035 |
|---------------|----------|-------------|-----------------|---------------|-------------|------|-------------|------|-------------|-------|------|------|------|
| | | | | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 | R16 | R17 |
| 神山小学校 | 校舎 | 698 | 昭和47年度 | | | | | | | | | | |
| | | | (54年) | | | | | | | | | | |
| | 屋内運動場 | 3720 | 平成16年度 (22年) | 建替え | | 解体 | | | | | | | |
| | | | | 1,000,000,000 | 350,000,000 | | | | | | | | |
| 根占中学校 | 校舎 | 4100 | 平成13年度 | | | | | | | 大規模改造 | | | |
| | | | (25年) | | | | | | 439,730,000 | | | | |
| | 屋内運動場 | 2137 | 平成13年度 (25年) | 部位修繕 | | | | | | | | | |
| | | | | 8,000,000 | 70,000,000 | | | | | | | | |
| 第一佐多中学校・佐多小学校 | 校舎(教室棟) | 1,915 | 平成3年度 | | | | 大規模改造 | | | | | | |
| | | | (35年) | | | | 205,060,000 | | | | | | |
| | 校舎(特別教室) | 628 | 平成3年度 | | | | 大規模改造 | | | | | | |
| | | | (35年) | | | | 67,350,000 | | | | | | |
| | 屋内運動場 | 888 | 平成7年度 | 部位修繕 | | | | | | | | | |
| (31年) | | | | 8,000,000 | 70,000,000 | | | | | | | | |
| 南大隅町立学校給食センター | 体育館 | 442 | 平成16年度 | 部位修繕 | | | | | | | | | |
| | | | (22年) | 7,000,000 | 12,000,000 | | | | | | | | |

直近10年の個別施設の整備計画

(万円)

| 事業名称 | 2026 R8 | | 2027 R9 | | 2028 R10 | | 2029 R11 | | 2030 R12 | | 2031 R13 | | 2032 R14 | | 2033 R15 | | 2034 R16 | | 2035 R17 | | | |
|-----------|------------------------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|------------------------|--------|------------------------|--------|------------------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|-------|-------------|-------|--|-------|
| | 学校名 | 事業費 | 学校名 | 事業費 | 学校名 | 事業費 | 学校名 | 事業費 | 学校名 | 事業費 | 学校名 | 事業費 | 学校名 | 事業費 | 学校名 | 事業費 | 学校名 | 事業費 | 学校名 | 事業費 | | |
| 施設整備費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新增築事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改築事業 | 神山小学校_屋内運動場 | 50,000 | 神山小学校_屋内運動場 | 50,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐震化事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長寿命化改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大規模改造(老朽) | | | | | | | 佐多小学校・第一佐多中学校_校舎 | 6,835 | 佐多小学校・第一佐多中学校_校舎 | 6,835 | 佐多小学校・第一佐多中学校_校舎 | 6,835 | 根占中学校_校舎 | 21,986 | 根占中学校_校舎 | 21,986 | | | | | | |
| 防災関連事業 | | | | | | | 佐多小学校・第一佐多中学校_校舎(特別教室) | 2,245 | 佐多小学校・第一佐多中学校_校舎(特別教室) | 2,245 | 佐多小学校・第一佐多中学校_校舎(特別教室) | 2,245 | | | | | | | | | | |
| トイレ整備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 空調整備 | 根占中学校_屋内運動場 | 800 | 根占中学校_屋内運動場 | 7,000 | | | 佐多小学校・第一佐多中学校_校舎(普通) | 800 | 佐多小学校・第一佐多中学校_校舎(普通) | 7,000 | | | | | | | | | | | | |
| 障害児等対策 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特別支援学校の整備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部位修繕 | 南大隅町立学校給食センター_南大隅町佐多学校給食センター | 700 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他施設整備費 | | 0 | | 0 | 神山小学校_屋内運動場 | 35,000 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 |
| 維持修繕費 | | 92 | | 92 | | 92 | | 92 | | 92 | | 92 | | 92 | | 92 | | 92 | | 92 | | 92 |
| 光熱水費・委託費 | | 2,092 | | 2,092 | | 2,092 | | 2,092 | | 2,092 | | 2,092 | | 2,092 | | 2,092 | | 2,092 | | 2,092 | | 2,092 |
| 合 計(万円) | | 53,684 | | 61,184 | | 44,184 | | 11,264 | | 11,264 | | 11,264 | | 24,170 | | 24,170 | | 2,184 | | 2,184 | | 2,184 |

南大隅町 学校施設長寿命化計画

2021(令和3)年 3 月発行

2026(令和 8)年 3 月第 1 回改訂

発行・編集:南大隅町 総務課

南大隅町教育委員会 教育振興課

〒893-2501

鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北 226

電話 0994-24-3111(代表)

E-mail k-kyoiku@town.minamiosumi.lg.jp